

令和8年4月1日

市の公益や振興発展に尽力された方を表彰します ～令和8年福島市功労表彰 被表彰者の決定、表彰式の開催～

令和8年福島市功労表彰の被表彰者を下記および別紙の通り決定し、表彰式を下記のとおり挙行します。

なお、被表彰者の顔写真データはメールで送付いたしますので、下記担当までご連絡ください。

記

1 被表彰者

(1)特別功労章

該当者なし

(2)功労章 功績は別紙の通り

3名

	氏名	地区	部門
1	<small>すえなが ひろし</small> 未永 弘	冲高	自治
2	<small>もりや しげる</small> 森谷 繁	本内	自治
3	<small>あかま ひでのり</small> 赤間 英典	腰浜町	保健福祉

2 表彰式

日時:4月27日(月) 午前11時より

会場:ホテル福島グリーンパレス 瑞光の間(予定)

内容:表彰状及び功労章の授与、あいさつ(市長、来賓、受章者代表)

福島市功労表彰

市の公益及び振興発展に尽くし、その功労が顕著である者を表彰するもので、市の行う最高の表彰。条例に基づき、福島市功労表彰審査会に諮って決定する。

担当:総務課総務係

課長 鈴木、課長補佐 菅野

電話 024-525-3701(直通)

【功労章】

末 永 弘 様

地区（年齢） 沖高（80歳）

功績（自治）

平成20年3月から現在まで、沖高町会会長として、町会活動を指導し、住民自治活動の発展に努めた。その間、平成25年6月から令和5年5月まで余目地区町会連合会会長を10年間、また、令和5年5月から令和7年5月まで余目地区自治振興協議会会長を2年1月務め、災害時における指定避難所の運営協力に関して市と協定を締結し、地区住民のより安全な避難場所の確保を図るなど、地区の振興と安全な市政の発展に尽力した功績は誠に大きい。

【功労章】

森 谷 繁 様

地区（年齢） 本内（86歳）

功績（自治）

平成24年2月から現在まで、慶河苑町内会会長として、町会活動を指導し、住民自治活動の発展に努めた。その間、平成27年5月から東部地区町会長連合会会長を令和元年5月まで務めた。また令和元年5月からは東部地区自治振興協議会の会長を現在まで務め、主要地方道福島保原線の整備促進、じょーもぴあ宮畑の活用推進など、長年にわたり東部地区の地域振興や課題解決に積極的に取り組み、市政の発展に尽力した功績は誠に大きい。

【功労章】

赤 間 英 典 様

地区（年齢） 腰浜町（68歳）

功績（保健福祉）

平成13年より、大森小学校、信夫中学校、佐倉小学校、佐倉幼稚園、平田小学校、平石小学校、庭坂小学校、平田幼稚園（廃園）、福島第二幼稚園（廃園）の校医（いずれも内科）として25年間にわたり児童生徒の健康管理に寄与した。

また、平成23年の東日本大震災においては、小児の放射能の影響が懸念されたことから、住民に対し正しい理解と対応について市内多くの会場で講演等を行った。

さらには、令和2年新型コロナ感染流行時においては、諸外国の情報や国内感染情報をいち早く察知し予防の在り方とともに、小児のワクチン接種医療機関の確保並びに接種の必要性について、福島市とともに広報を行い、住民の保健衛生の向上に尽力した。